

授業科目	音楽の基礎				単位	1		
履 修	選択	関連資格	幼二種免 保育士		ナンバリング	CH11328J		
開講年次	1	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP5-2			
担当教員	山路 麻佳							
授業概要	子どもと共に音楽表現活動をするために必要な音楽理論を学ぶ。音楽表現活動は子どもの豊かな感性や表現する力、想像力を育むために重要であり、保育者には音楽表現活動を行うための豊かなレパートリーが要求される。そのためには音楽理論の基礎知識を持ち、使いこなせなければならない。本講義は、生き生きと音楽活動をするための理論を学ぶ最良の道として、実際の楽曲、音、声と結びつけ、音楽を共有する喜びを味わいながら音楽理論を学ぶ。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 楽譜を正確に読み取ることができる。 2. 音楽における基本的な知識や技能を理解し、実践できる。 3. 音楽理論の基礎にかなったアレンジを加え、子どもの実態に合った曲を創作することができる。 4. 正しい発声で正確な音程やリズムで歌唱することができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	30	10	0	60	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	30	10					40	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)				60			60	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
音楽で子どもたちのイメージを広げたり、自由な発想から出てきたものを表現することができるよう、音楽理論に基づいたアレンジをし記譜することができる。				音楽の基礎知識を習得し、正しく楽譜を読むことができる。保育現場で活用する楽曲を、その曲にふさわしい速さ、正しい音程・リズムで表現することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	テーマ:オリエンテーション 授業の概要、評価方法について理解する。五線譜と鍵盤の関係、派生音について学ぶ。			講義・演習		講義内容を復習。 五線の音符を見て音の名前(ドレミ…)がスラスラ読めるよう		40

			に、ソルフェージュのプリントを繰り返し練習する。	
2	<p>テーマ:五線譜と鍵盤の関係2 4オクターブの音域と、ト音記号以外の読み方に慣れることで、正確な読譜の有効性を学ぶ。 コールユーブンゲン第一章、第二章2度音程 ソルフェージュ Step.1①</p>	講義・演習	<p>講義内容を復習。 五線の音符を見て音の名前(ドレミ…)がスラスラ読めるように、ソルフェージュのプリントを繰り返し練習する。</p>	40
3	<p>テーマ:音価比率 全音符から16分音符までの音価比率について理解する。 コールユーブンゲン第二章拍子 ソルフェージュ Step.1②</p>	講義・演習	<p>講義内容を復習。 五線の音符を見て音の長さを正しく理解し、リズムが打てるようソルフェージュのプリント等を使って繰り返し練習する。</p>	40
4	<p>テーマ:リズムと拍子1 童謡を例に拍子について理解する。 コールユーブンゲン第三章3度音程 ソルフェージュ Step.2①</p>	講義・演習	<p>講義内容を復習。 テキスト『こどものうた 100』の楽曲などを参考に、様々な楽曲の拍子を確認する。</p>	40
5	<p>テーマ:リズムと拍子2 ことばとリズムの関係に着目し、色々なリズムパターンを学ぶ。 コールユーブンゲン第三章付点音符、連結音符、切分音 ソルフェージュ Step.2②</p>	講義・演習	<p>講義内容を復習。 身の回りにある言葉に注目して、言葉のリズムを記譜できるよう確認する。</p>	40
6	<p>テーマ:音程1 全音、半音の観念から長音程、短音程について理解する。 コールユーブンゲン第四章4度音程、拍子の分割 ソルフェージュ Step.3①</p>	講義・演習	<p>講義内容を復習。 ピアノの鍵盤や五線上の音符を見て、音程を答えられるよう復習する。</p>	40
7	<p>テーマ:音程2 完全音程、増音程、減音程について理解する。 コールユーブンゲン第五章5度音程 ソルフェージュ Step.3②</p>	講義・演習	<p>講義内容を復習。 ピアノの鍵盤や五線上の音符を見て、音程を答えられるよう復習する。</p>	40
8	<p>テーマ:音階と調1 長音階、短音階について理解する。 コールユーブンゲン第六章5度音程の転回 ソルフェージュ Step.4①</p>	講義・演習	<p>講義内容を復習。 テキスト『こどものうた 100』に掲載されている楽曲などを参考に、様々な楽曲の調について確認する。</p>	40
9	<p>テーマ:音階と調2 童謡を例にして移調について理解する。 こどもの声に合わせて楽曲を正しく移調できるよう課題に取り組む。 コールユーブンゲン第七章6度音程、3連符 ソルフェージュ Step.4②</p>	講義・演習	<p>講義内容を復習。 テキスト『こどものうた 100』に掲載されている曲のメロディーを使って、移調に取り組む。</p>	40
10	<p>テーマ:和音と伴奏1 自分で簡単な伴奏を作ること为目标に基本の和音について理解する。 コールユーブンゲン第八章6度音程の転回、16分音符 ソルフェージュ Step.5①</p>	講義・演習	<p>講義内容を復習。 テキスト『大学ピアノ教本』の左手伴奏(P.4、P.28)を復習して、和音への理解を深める。</p>	40
11	<p>テーマ:和音と伴奏2 主要3和音と分散和音の効果的な使い方について理解する。 楽曲に合わせた伴奏づけができるよう課題に取り組む。 コールユーブンゲン第九章7度音程</p>	講義・演習	<p>講義内容を復習。 テキスト『大学ピアノ教本』の左手伴奏(P.8、P.12、P.16、P.20)を復習して、様々な伴奏アレンジへの理解を深める。</p>	40

	ソルフェージュ Step.5②			
12	テーマ:コードネーム1 基本のコードから和音をつける方法について理解する。 コールユーブンゲン第十章7度音程の転回 ソルフェージュ Step.6①	講義・演習	講義内容を復習。 テキスト『こどものうた 100』に掲載されている楽曲などを参考に、楽譜上に記載されているコードの確認をする。	40
13	テーマ:コードネーム2 セブンス・コードについて理解する。 コードネームをもとに伴奏づけの課題に取り組む。 コールユーブンゲン第十二章長調における諸調の練習 ソルフェージュ Step.6②	講義・演習	講義内容を復習。 テキスト『こどものうた 100』に掲載されている楽曲などを参考に、楽譜上に記載されているコードの確認をすること。	40
14	テーマ:音楽用語 速度記号や強弱記号、奏法に関する記号について理解する。 コールユーブンゲン第十三章転調の練習、歌唱発表の練習	講義・演習	講義内容を復習。 テキスト『大学ピアノ教本』や『こどものうた 100』などを参考に、楽譜上に記載されている音楽用語を確認。	40
15	テーマ:まとめ これまで学習した内容をもとに楽曲を正しく理解し、こどもの実態に合わせてアレンジを加えたり創作することができるか発表し合う。 コールユーブンゲン発表	講義・演習	ノート整理をし、試験に向けて授業内容の復習をする。	40
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	高等学校までに学習してきた音楽的内容を振り返り、音の高さ(ドレミ…)や音の長さについて復習してきてください。			

テキスト	『これだけは知ってほしい楽典 はじめの一步』(カワイ出版) 『標準版コールユーブンゲン』(全音出版社)
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	『大学ピアノ教本』教育芸術社 小林美実『こどものうた 100』チャイルド本社 その他、必要に応じてプリントを配布します。
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	授業で学習した内容は、必ず復習して理解を深めましょう。 また、授業内に指定する箇所を熟読し予習に取り組みましょう。 歌唱やソルフェージュについては毎日継続して練習することが大切です。毎回の授業で歌った内容を復習し、力を身につけていきましょう。
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	試験内容、小テストについては授業の中で解説します。